

“しろそこひ”と“あおそこひ”

“しろそこひ”は白内障のことです。

眼の中のレンズが濁った状態を指します。手術で視力回復が可能です。

白内障が原因で生活に支障がでた時点で手術をします。

たとえば、老眼鏡をかけても新聞が見えにくくなったら手術をおすすめしますが、車を運転する方は、免許の条件であるメガネをかけても0.7が見えなくなったら手術を受ける方が多いです。当院では一泊入院で手術を行っております。手術時間は10分くらいで、術後1時間たてば歩いたり食事をとることが出来ます。

“あおそこひ”は緑内障のことです。

眼球の内圧である眼圧が原因で視神経がおかされ視野が欠けてくる病気です。

日本で行われた疫学調査で40歳過ぎの約20人に1人が緑内障に罹患しているという結果が出ています。また、眼圧が高くない緑内障が日本人に多いこともわかってきました。多くの緑内障は痛くもかゆくもなく気がつかないうちに徐々に視野が欠けていき最悪の場合失明することもある疾患です。40歳過ぎの方は是非一度眼科で緑内障の検査を受けて下さい。